



AeruSHOP (アエルショップ) 地元のステキな商品に 出アエルお店



▲地元で丁寧に作られた商品がたくさん

伝承野菜をベースにじっくりと手作りされた辛味ソース。地域の野菜や果物を丁寧に使用した、焼き菓子やレトルト食品。店内には、恵那地域で作られたおいしいような農産加工品が、所狭しと並んでいるんだ。

1年前に恵那駅前オープンした「AeruSHOP」に来てみたよ。ここでは、地元農家さんの共同販売プロジェクト「恵那山麓



▲ショップは、恵那駅前にあるよ

野菜一を中心に、県産品の良さをPRしたり地産地消を進めたりしているよ。

最近では、御中元などにも使えるギフトセットの販売にも力を入れているんだって。大切な方に、地元商品が詰まった贈り物をするのもいいね！オンラインサイトもあるから、ぜひ「Aeru」で検索してみてね。

現在、恵那山麓野菜プロジェクトに参加してくれる農家さんを募集しているよ。

恵那の美味しい野菜が、多くの人に届くといいな！

農政課 (内線368)



▲恵那山麓野菜のページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGs

未来都市 恵那市

SDGsで未来が変わる Vol.6

目指せ、食料自給率100% 余った農地を利用して「地消地産」

米の需要や価格の低下だけでなく、農業従事者の高齢化や担い手不足は、本市の農業にとって深刻な課題です。さらに耕作放棄地も増加傾向にある中、使われていない農地を畑として利用し、地域の中で「農」と「食」を循環させることで、持続可能な農業を実現します。現在、中野方地内では、水田を畑に転換してタマネギを栽培する実証栽培を行っています。

問い合わせ 農政課 (内線369)

持続可能な農業を実現するための4つのポイント

農工連携

農業者と加工業者が連携して加工食品を製造



耕畜連携

農業と畜産業が連携して、環境に配慮した農畜産物を生産



工商連携

加工業者と小売業・外食業が連携して製品を開発



地消地産

地域のニーズに合わせた農作物・製品の生産

SDGsを推進するため、市が行う事業をSDGsと関連付けて、毎月紹介しています。

問 SDGs推進室 (内線421)

関連するSDGsの目標

目標2 飢餓をゼロに



食料自給率 (市民が必要とするカロリー量に対して市内で生産された農産物の総カロリー量の割合) 100%を目指す。

目標8 働きがいも経済成長も



農業が職業の選択肢の一つとなるよう、産業として確立する強い農業を目指します。

※地産地消は、地域で生産されたものを地域で消費するという消費行動への呼び掛けです。一方で「地消地産」は、地域で消費するものは地域で生産するという生産構造の変革を意味します

物知り先生のふるさと情報

(佐藤一斎生誕250年)

「言志四録」を読めば 人生が豊かになる

NPO法人いわむら一斎塾
鈴木隆一さん (岩村町)

「わが日本の国の歴史を知らない人が多すぎる。それは、先人たちの血の努力によってわが国の現在があり、みんながその恩恵を受けているというのに、それを知らないということではないか。こんなことで日本の将来はどうなるのか。」

佐藤一斎は、自分の著書『言志後録』にこのように書き残しています。原文は漢文で書かれていますが、現代風に要約すればこうなります。約200年後の今、令和を生きている私たちにも通じる言葉で、びっくりします。

一斎が著した『言志録』『言志後録』『言志晩録』『言志遺録』の4冊を『言志四録』と呼び、約10年刻みで刊行されました。42歳から書き始め82歳で書き終わるまで推敲を重ね、全部で1133条の文章で出来上がっています。内容は、人生、学び、志、処世、宇宙、修養、養生、死生など多方面にわたっています。時代がどう変わろうとも読む人の魂に触れる言葉が多く、思いやりや譲り合いな

ど、「心」を大切にしている日本人が多く読まれ、生活に生かされています。例えば、「二燈を提げて暗夜を行く。暗夜を憂うること勿れ。只だ一燈を頼め」(心に決めたことは最後までやり抜きましよう)や、「身には老少有れども、心には老少無し。能く老少無きの心を執りて、老少無きの理を体すべし」(身体の老少の違いはどうしようもありませんが、物事の道理が分かるかどうかには、老少の違いはありません。年齢に関係なく、道理だけは身に付けなければなりません)などです。

明治維新を成し遂げた若い志士が「言志四録」に触発されたように、これからの日本を背負って立つ若い人たちにぜひとも読んでいただきたい、お勧めの4冊です。



▲言志四録を読みやすく解説した図書

制度を知って経営に生かそう

インボイス制度 特別相談会

令和5年10月から、「適格請求書等保存方式 (インボイス制度)」が始まります。インボイス制度って何? 自社に関係あるの? そんな疑問を解決します。

日にち 10月25日(木)

相談無料

時間 ①午前10時 ②午前11時 ③午後1時
④午後2時 ⑤午後3時 ⑥午後4時

場所 SOZO Trial space ENA (恵那暮らしビジネスサポートセンター2階)

対象者 各回1組 (先着順・予約制)

申し込み 電話で申し込むか、氏名・事業所名・連絡先を記入し電子メールで申し込みください。

正しい知識が必須の制度です

難しい専門用語を、事業者目線で解説します。まずは制度を知りたい方、何を準備したらよいか分からない方、課税か免税の選択に迷っている方など、ぜひ相談ください。

講師 井上学氏
(県よろず支援拠点コーディネーター)

公認会計士・税理士。
専門分野は、事業継承、会計、税務、監査。中小企業の事業継承と決算書分析を起点とした経営改善を得意とする。



私が、基礎から説明します

問 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町 206-5
☎ 26-2266 (午前9時~午後5時・月曜定休) ✉ info@enalifebizsupport.jp

